

## 広域連携部会取組状況

	項目名	担当県
1	広域防災部会	山口県
2	スギ・ヒノキ花粉症対策部会	岡山県
3	有害鳥獣対策部会	鳥取県
4	中山間地域振興部会	島根県
5	サイクリング部会	広島県
6	地域産業振興部会	山口県
7	広域デジタル部会	山口県

# 広域防災部会

連携テーマ	これまでの取組(令和3年度)	今後の取組(令和3年度)
<p>大規模広域的災害発生時の連携と調整等WG            ( 広島県・山口県            岡山県 )</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国5県広域応援連絡体制の確認(R3.4)</li> <li>・中国5県共同防災訓練等を踏まえたマニュアルの見直しの検討</li> <li>・関西広域連合との協定に基づく情報の交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国5県共同防災訓練等を踏まえたマニュアルの一部改正・施行(年度内)</li> <li>・広域避難体制に関する意見交換</li> <li>・関西広域連合との情報交換の継続</li> </ul>
<p>防災訓練・人材育成WG            (鳥取県・広島県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国5県共同防災訓練の実施方法等を協議(R3.6.17)</li> <li>・各県訓練、研修の相互参観、参加(コロナ禍での開催状況の把握・情報共有)</li> <li>・危機管理担当職員の人材育成の実施に係る情報の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国5県共同防災訓練の実施(R4年2月頃に実施予定)</li> <li>・各県訓練、研修の相互参観、参加</li> <li>・危機管理担当職員の人材育成の実施に係る情報の共有</li> <li>・鳥取県内の被災を前提とした岡山県の広域物資輸送拠点からの物資輸送を想定した訓練の実施に向け調整中</li> </ul>
<p>原子力災害を想定した連携と調整等WG            (島根県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根原発の状況、原子力防災に関する取組状況及び島根地域原子力防災協議会に関する情報の提供</li> <li>・情報共有体制の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根原発の状況、原子力防災に関する取組状況及び島根地域原子力防災協議会に関する情報の提供</li> <li>・情報共有体制の継続</li> </ul>

# 広域避難体制の検討等について

## 趣旨

災害が発生するおそれの段階での広域避難の法的手続きや避難実施に迅速に対応するため、中国5県が連携し、平時からの準備に係る検討・調整等の取組を進める。

## 背景

災害対策基本法の改正(令和3年5月20日施行)で、災害が発生するおそれの段階で、都道府県間の広域避難に係る協議を可能とする規定が新たに措置(広域避難の実施・受入れの主体は市町村だが、都道府県知事間の協議が必要)



大規模河川氾濫時の他市町村への避難イメージ

## ○災害対策基本法の一部を改正する法律(令和3年5月20日施行)

### (広域避難の協議等)【新設】

第六十一条の四 市町村長は、当該市町村の地域に係る災害が発生するおそれがある場合において、予想される災害の事態に照らし、第六十条第一項に規定する避難のための立退きを指示した場合におけるその立退き先を当該市町村内の指定緊急避難場所その他の避難場所とすることが困難であり、かつ、居住者等の生命又は身体を災害から保護するため当該居住者等を一定期間他の市町村の区域に滞在させる必要があると認めるときは、当該居住者等の受入れについて、同一都道府県内の他の市町村の市町村長に協議することができる。

### (都道府県外広域避難の協議等)【新設】

第六十一条の五 前条第一項に規定する場合において、市町村長は、要避難者を一定期間他の都道府県内の市町村の区域に滞在させる必要があると認めるときは、都道府県知事に対し、当該他の都道府県の知事と当該要避難者の受入れについて協議することを求めることができる。

### (居住者等の運送)【新設】

第六十一条の八 都道府県知事は、都道府県の地域に係る災害が発生するおそれがある場合であつて、居住者等の生命又は身体を当該災害から保護するため緊急の必要があると認めるときは、運送事業者である指定公共機関又は指定地方公共機関に対し、運送すべき人並びに運送すべき場所及び期日を示して、居住者等の運送を要請することができる。

# スギ・ヒノキ花粉症対策部会

## ■連携テーマ

- ① 中国地方連絡会議の開催
- ② 苗木等の相互融通と植替えの促進
- ③ ヒノキに関する調査研究
- ④ 普及啓発活動



## ■テーマ毎の進捗状況 【令和2(2020)年度からヒノキについても花粉症対策の取組を連携】

連携テーマ	目標	令和2(2020)年度実績	令和3(2021)年度見込
① スギ・ヒノキ花粉症対策推進 中国地方連絡会議の開催	・連絡会議の開催(年1~2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回開催</li> <li>・スギ同様、ヒノキの花粉発生源対策の取組に向け、連携テーマの見直し</li> <li>・前年度実績、当年度計画・実績見込、苗木生産技術等の協議</li> <li>・植替えの促進に向けた目標の見直しを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回開催</li> <li>・植替えの促進に向けた目標の見直し</li> <li>・少花粉苗木等生産技術向上等について情報交換及び課題の共有</li> </ul>
② 少花粉スギ・ヒノキ苗木等の相互融通と植替えの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 令和7(2025)年度に50% (少花粉スギ苗木580,000本 /スギ全体1,161,000本)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 8% (少花粉スギ苗木55,617本/スギ全体691,458本)</li> <li>・少花粉苗木等の相互融通</li> <li>ヒノキ苗木：岡山県→島根県、広島県</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合 23% (少花粉スギ苗木165,600本/スギ全体734,670本)</li> <li>・少花粉苗木等の相互融通</li> </ul>
③ ヒノキ特定母樹の少花粉品種に関する調査研究	・調査研究結果の情報共有	・調査研究の情報共有	・調査研究の情報共有
④ 少花粉スギ・ヒノキ等に関する普及啓発活動	・リーフレットの配布等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発用マスクの作成・配布</li> <li>・モデル林設置 1箇所【累計35箇所】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発用付箋紙の作成・配布</li> <li>・モデル林の設置 2箇所</li> </ul>

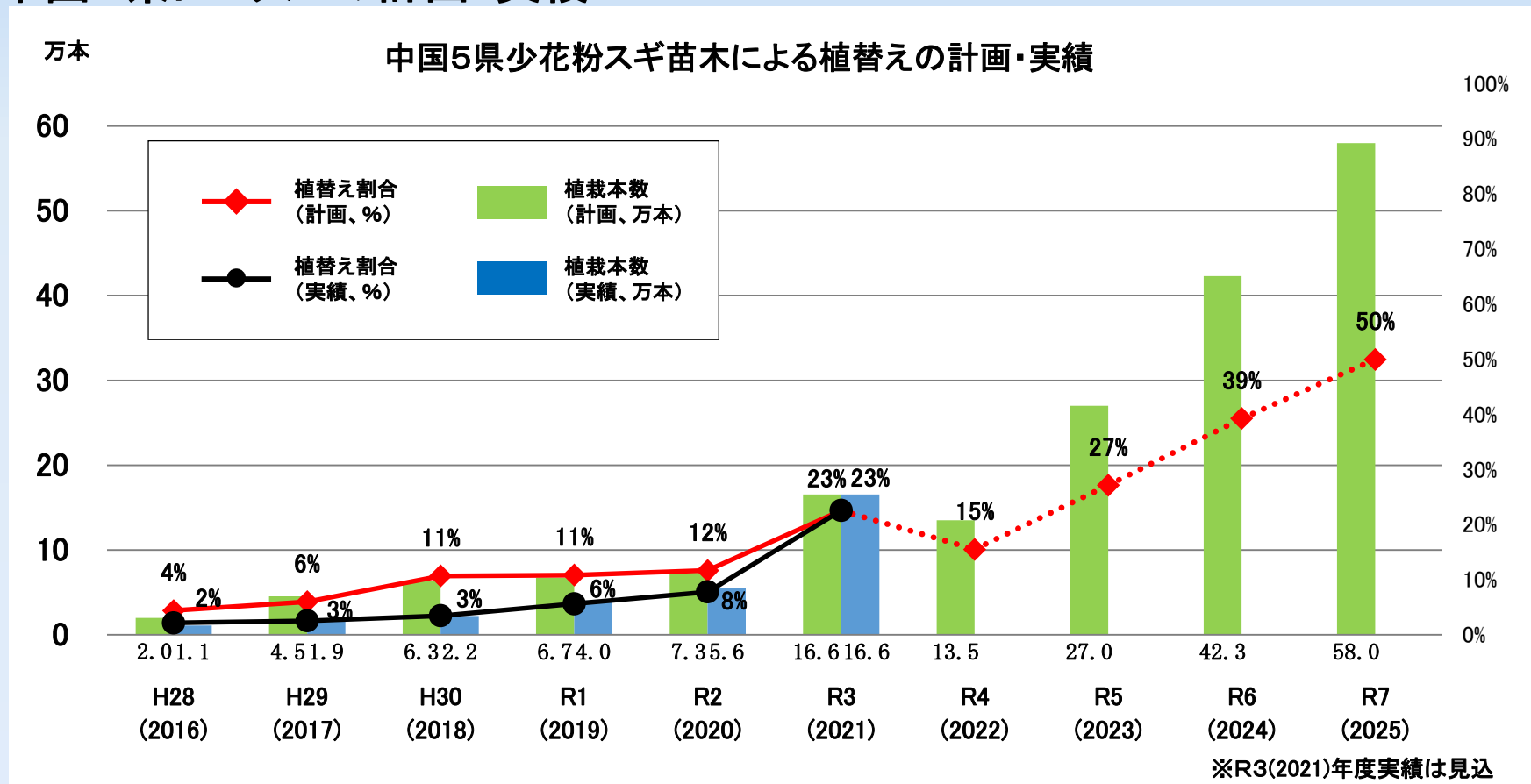
# スギ・ヒノキ花粉症対策部会

## ■ 植替えの促進(少花粉スギ)

中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合を令和7(2025)年度に50%とする。

[参考数値] 令和7(2025)年度の少花粉スギ苗木の植栽計画本数 580,000本  
※ただし、計画本数は今後の苗木の需給動向により随時見直す。

## ■ 中国5県トータルの計画・実績





# 有害鳥獣対策部会

## 連携テーマ

## 野生イノシシ、ニホンジカ、カワウに係る広域連携体制の構築

〔取組の方向〕 ①生息状況の情報共有 ②捕獲、被害対策の取組状況の情報交換 ③広域的な取組方針の検討

## 取組体制

獣種	取組主体	広域的な取組方針
野生イノシシ	中国5県豚熱等に係るイノシシ検討会	中国5県豚熱等に係る野生イノシシ対策行動指針(R2.12改訂)
ニホンジカ	中国5県ニホンジカ対策連絡会	中国5県ニホンジカ広域管理方針(H31.3)
カワウ	中国5県カワウ対策連絡会	中国5県カワウ広域管理方針(H31.3)

## 取組内容

### 《野生イノシシ》

野生イノシシ対策行動指針に基づき、広域連携体制を構築

⇒ 検討会を核として、5県が連携した対策を実施中

#### (1) 野生イノシシの養豚場への侵入防止対策強化

- ⇒ 全農場で侵入防止柵を設置
- ⇒ 侵入防止柵の点検等、飼養衛生管理基準の遵守を徹底

#### (2) 捕獲対策の強化

- ⇒ 狩猟期(11月～)を中心に重点エリアの設定と捕獲強化
- ⇒ 豚熱まん延防止のため、県全域で捕獲強化(4月～)【鳥取・岡山】

#### (3) 豚熱に係る野生イノシシ対策

- ⇒ 兵庫県境付近の野生イノシシのモニタリング強化(4月～)
- ⇒ 経口ワクチン散布に係る情報を共有し、散布の準備中【鳥取・岡山】

#### (4) 中国5県豚熱等に係るイノシシ検討会の開催

- ⇒ 侵入防止対策の徹底と防疫・捕獲対策に係る情報共有、専門家による対策の助言(12月上旬WEB開催予定)

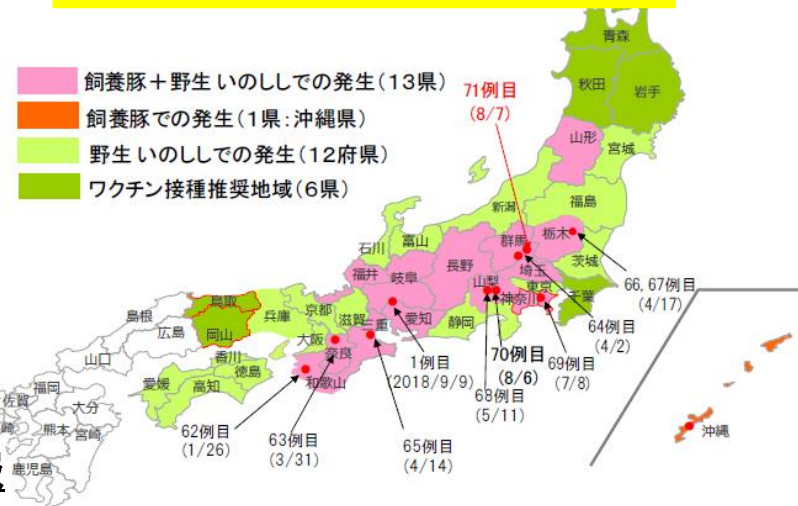
⇒ 兵庫県での感染拡大を受けて、鳥取・岡山における豚熱ウイルス侵入対策強化及び発生時に備えた情報共有の強化

○R3年3月16日以降、兵庫県では丹波市、淡路市等で豚熱陽性野生イノシシを確認(計41頭)

全国では25都府県で確認(三重県、滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、和歌山県他)

○飼養豚では、14県の農場で発生(R3.8.7時点)

【国内の豚熱発生状況】令和3年8月7日時点



# 有害鳥獣対策部会

## 《ニホンジカ》

### (1) 広域的な生息状況の共有

- R2年度の調査結果を共有し、最新の生息域を把握
  - ・個体数が減少傾向…  
島根(島根半島)
  - ・横ばい傾向…山口県西部
  - ・低密度だが生息域が拡大中…  
鳥取・岡山県境域の中西部、  
広島・島根県境域の中国山地



生息分布を広げるニホンジカ  
(島根県中山間地域研究センター提供)

### (2) 「捕獲強化月間」の設定

- 捕獲強化月間(10月)を継続実施【鳥取・岡山・山口】
  - ・昨年に引き続き、狩猟期前から捕獲圧を高める。
- 狩猟期(11月～)を中心に重点エリアの設定と捕獲強化

### (3) 生息動向を踏まえた地域別対策

- 県境域や分布拡大地域等での捕獲強化を継続  
【鳥取・岡山、広島、山口】
- 中国山地における情報共有推進【島根・広島】
- 中国山地での効率的な捕獲、被害低減のための実証試験を継続実施(8月～)【島根(邑南町)】
- ICTを活用したわなの導入【鳥取・広島・山口】

### (4) 人材育成

- 兵庫県との合同研修会を継続【鳥取・岡山】(鳥取県内、2月)
- 捕獲技術向上のための研修会を継続

## 《カワウ》

### (1) 「被害防除強化期間」(年3回)の取組

- 「被害防除強化期間」として設定した、アユの「遡上」、「放流」、「産卵及び盛漁期」の期間中に一級河川等での対策を継続  
【実施状況】令和3年3月～令和3年8月(遡上、放流)の期間  
【追払い】26水系 【テグス張等】23水系・のべ133箇所

### (2) 個体群管理の取組

- シャープシューティング(SS)とテープ張りを組み合わせた総合的なコロニー対策を1水系で実施。SS実施後、テープを張り、コロニーの経過観察を継続中【岡山】
- 地元狩猟者への技術移転を目的としたシャープシューティングと追い払い講習の開催(3月)【鳥取】
- ドライアイスによる繁殖抑制を継続  
【中海(環境省・鳥取・島根、3～6月)  
・広島(12月以降を予定)】
- 繁殖期における巣落とし(4～5月)を1コロニーで継続【山口】
- 専門家による河川・湖沼における対策  
ドライアイス処置(環境省提供)の助言を2水系で実施予定(10～12月)  
【岡山】



### (3) 中国5県カワウ対策連絡会の開催

- コロナウイルス対策のためR2年度は書面により情報共有
- 最新の生息域を共有(ねぐら・コロニー分布状況図の更新)
- 各県で行う取組の情報共有(個体群管理の取組等)

(参考)ツキノワグマ … 中国5県で市町村別の捕獲・目撃情報の共有と、市町村への情報発信を継続中(H29秋～、毎月)

# 中山間地域振興部会

## 令和3年度事業

### 1 共同事業

#### (1) 中国5県地域おこし協力隊研修会

- 1) 概要：中国地方で活動する「地域おこし協力隊」を対象とした5県共同研修会を開催し、スキルの向上、ネットワーク化を図る。
- 2) 時期：令和3年10月12日（オンライン開催）
- 3) 内容：地域力向上を目指す協力隊向け研修及び横のつながり構築を目的としたオンライン交流会を実施



パネルディスカッションの様子

#### (2) 政策研究会

- 1) 概要：各県での取組成果や工夫など、担当者同士の情報交換の場を設定することで、相互の業務の参考とする。
- 2) 時期：10月、3月（担当者会議と併せてオンライン開催を予定）
- 3) 内容：『中山間地域における人材確保・育成の取組』及び『コロナ禍での関係人口づくり』をテーマとして意見交換等を実施

#### (3) 中山間地域対策担当職員スキルアップ研修会

- 1) 概要：中国地方の中山間地域対策を担当する県職員、市町村職員、その他関係機関等職員を対象としたスキルアップ研修会を開催し、地域支援に関する知識・ノウハウの習得を図る。
- 2) 時期：令和4年1月頃（オンライン開催を予定）
- 3) 内容：検討中



# サイクリング部会

## 《目指す姿》

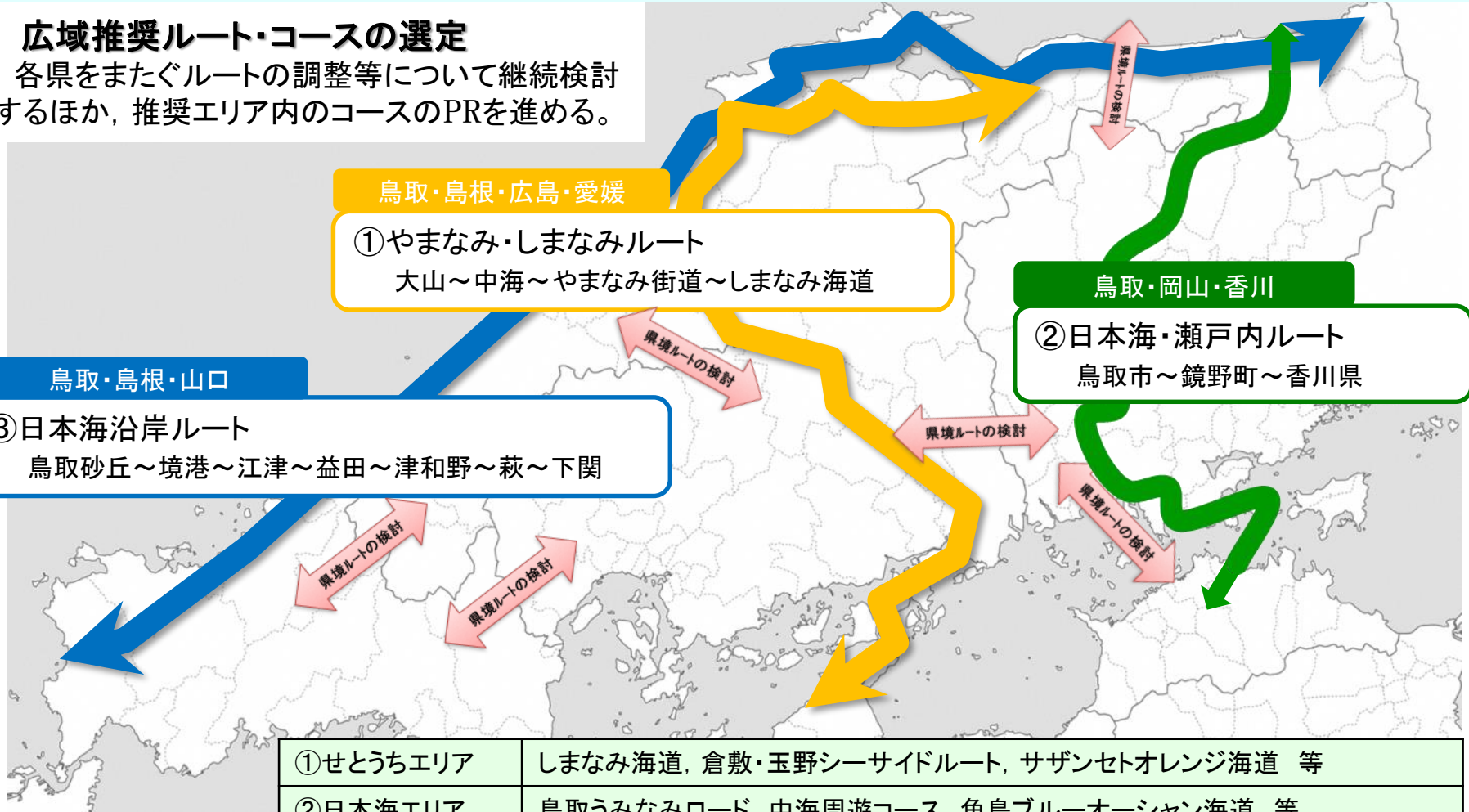
中国地方及び四国地方が国内外から何度も走りに行きたくなる魅力的なサイクリングエリアとなっていること。

## 《目指す姿の実現に向けた取組》

- ①広域推奨ルート・推奨エリアの選定 ②サイクリストの受入環境の整備 ③情報発信に係る連携

### 1 広域推奨ルート・コースの選定

各県をまたぐルートの調整等について継続検討するほか、推奨エリア内のコースのPRを進める。



①せとうちエリア	しまなみ海道, 倉敷・玉野シーサイドルート, サザンセットオレンジ海道 等
②日本海エリア	鳥取うみなみロード, 中海周遊コース, 角島ブルーオーシャン海道 等
③中国山地エリア	ツール・ド・大山ルート, 蒜山高原自転車道ルート, 秋吉台グリーンカルスト街道 等

# サイクリング部会

## 2 誘客促進・情報発信に係る連携（R3年度の主な取組）

### ○サイクルイベントへの出展【情報発信】

中国地方5県の統一したデザインのブース装飾を施し、昨年度改訂した「中国5県サイクリングマップ」や、各県のマップ等を配布し、情報発信を行った。

- ① 出展イベント： サイクルモードライド大阪  
（大阪府吹田市：万博記念公園）
- ② 実施日： 令和3年7月24日（土）～25日（日）
- ③ 来場者数： 8,585人 / 2日間  
※前回 14,431人（平成31年3月開催）



### ○サイクリングキャンペーンの実施【誘客促進】

中国地方5県において、サイクリングによる観光誘客の取組として、複数県を周遊することを目的としたWEB上でのサイクリングキャンペーンを実施する。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、当面の間、実施を見合わせている。

# 地域産業振興部会

## 取組状況（予定を含む）

### （１）ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

#### ○商談会の共同開催

- ・中国ブロック合同広域商談会  
（R3.11.16～17 [岡山市] しまね産業振興財団主催）



#### ○商談会・展示会等の他県の参加促進

- ・広島県広域取引オンライン商談会  
（R3. 5.20 [WEB] ひろしま産業振興機構主催）  
（R3. 7.20 [WEB] " "）  
（R3. 9.28 [WEB] " "）  
（R4. 3月 [WEB] " "）
- ・広島地区広域取引商談会  
（R4. 2. 3 [広島県] ひろしま産業振興機構主催）
- ・中四国地域環境ビジネスネット（B-net）フォーラム  
（時期未定 [未定] 岡山県、岡山県産業振興財団主催）

### （２）研究会・研修会の共同実施・相互参加

#### ○研究会・研修会等について他県を含め案内

- ・おかもやま次世代産業関連技術研究会  
（時期未定 [未定] 岡山県、岡山県産業振興財団主催）
- ・BCP（事業継続計画）セミナー  
（R3.4.28、6.2、7.27、10月 [WEB] 鳥取県主催）

### （３）公設試験研究機関の連携強化

#### ○連携会議

- ・公設研・産総研連携推進企画会議（時期未定 [未定]）
- ・中国地域公設試験研究機関における知的財産管理活用に関する研究会（R3.10.8 [広島市]）
- ・中国四国地方公設試験研究機関共同研究（精密加工分野）推進協議会（R4.2～3月予定 [WEB]）



## 新たな目標や課題

### (1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

- ➡ 中国ブロック合同商談会や展示会出展企業交流会の継続開催
- ➡ 各県単独実施の商談会・展示会等の他県の参加促進
- ➡ 海外事務所を共同利用して取り組める事業の継続実施

### (2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

- ➡ 各県単独実施の研究会・研修会等について、他県の参加促進

### (3) 公設試験研究機関の連携強化

- ➡ 公設試験研究機関の連携会議
- ➡ 中国知事会から発足した公設試験研究機関の連携会議

商談会等の  
共同実施

研修会等の  
相互参加



公設試の  
連携強化



# 広域デジタル部会

## 連携テーマ

広域でのデジタル・ガバメント推進による、住民サービス向上と業務の効率化

【R2】各県におけるシステムの現況調査の実施

【R3】国の動向や各県の意向を踏まえ、システムの統一化等について検討を開始

## システムの統一化等に向けた検討

以下のシステム等についてWGを編成。各WGとも令和3年9月中に第1回目を開催し、統一化等の可否について検討を開始。今後、さらに検討を進める。

システム等	リーダー県	参加県(リーダー県以外)
①セキュリティクラウド	鳥取県	島根県、岡山県、広島県、山口県
②統合宛名	岡山県	鳥取県、島根県、広島県、山口県
③地方公会計	山口県	広島県
④校務支援	山口県	鳥取県、島根県、岡山県、広島県
⑤震度情報	山口県	鳥取県、島根県、岡山県、広島県
⑥道路情報	島根県	鳥取県、広島県、山口県
⑦砂防情報	広島県	鳥取県、岡山県、山口県
⑧水防関連 ⑨土木防災	山口県	鳥取県、広島県
⑩公共工事積算	山口県	鳥取県、島根県、広島県
⑪AIによる橋梁インフラ点検・ 診断に伴う教師データの共有	山口県	島根県、広島県
⑫防災情報システム	広島県	鳥取県、島根県、岡山県、山口県

※⑧⑨は関連性が高いため一体的に編成。

⑫防災情報システムについては、別途、昨年度から検討作業を行っている。



A light green map of Hiroshima Prefecture is centered on the page. The text of the title is overlaid on the map.

# 広島県次期防災情報システム 将来構想素案 説明資料

令和3年10月



広島県危機管理課

## 次期防災情報システムの目指す姿

必要な情報の収集と防災関係機関における情報共有及び県民への情報提供を目的とし、海外における先進事例や最新のデジタル技術を踏まえたシステムを構築することで災害の予防や人的被害の軽減等を目指します。

# 1

### 災害オペレーション

- ◆ 発災時における迅速な被害情報の収集・共有と最適な意思決定の実施

# 2

### システム

- ◆ 新たなテクノロジーを活用した早期の住民避難の促進と災害発生前に重点を置いた災害対応の実施

# 3

### リソース

- ◆ システムの構築・運用コストと人的リソースの低減

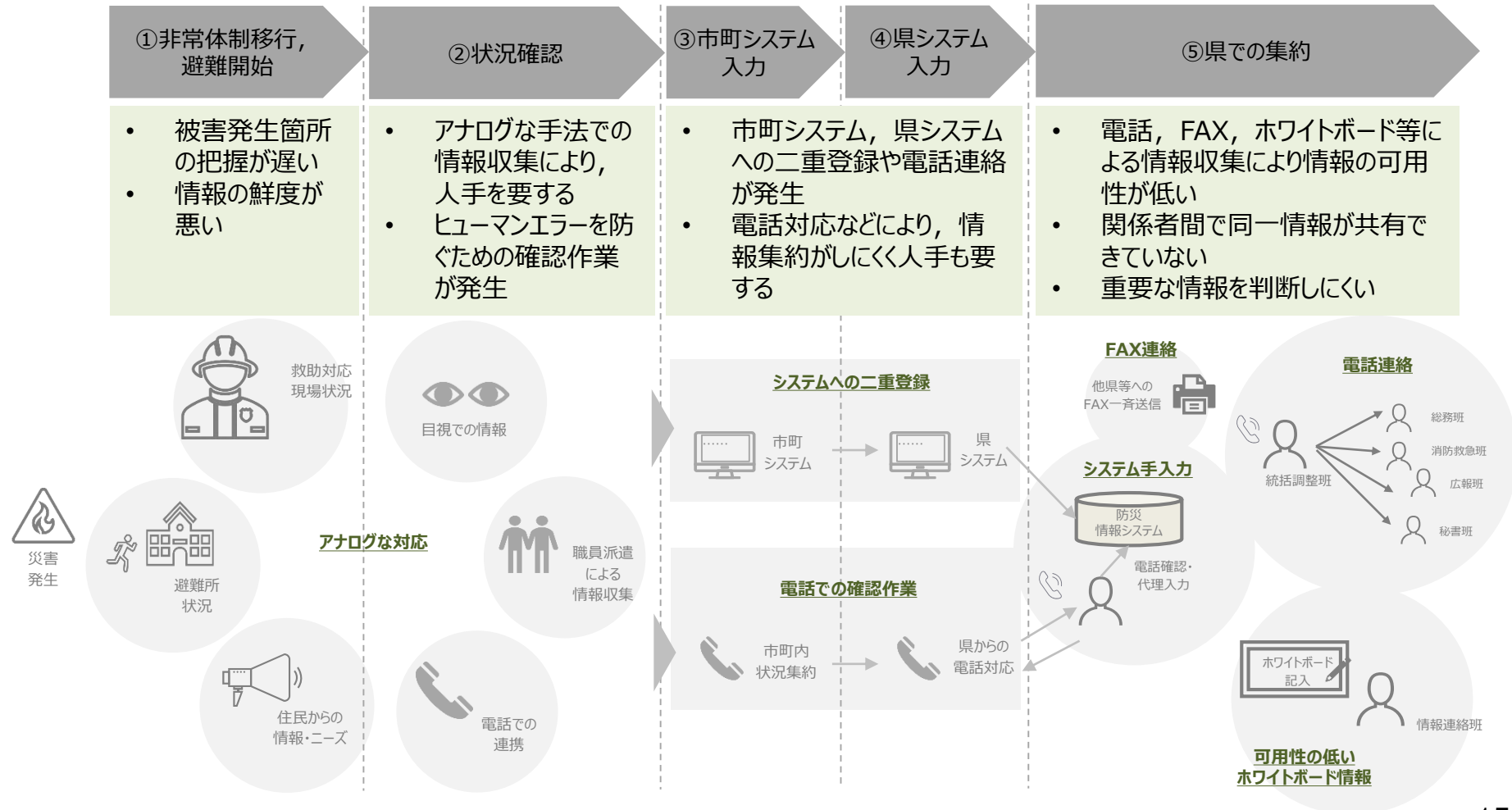
# 4

### 将来性

- ◆ システム乗り換えが随時可能な、柔軟性や拡張性の高いシステム構成の実現

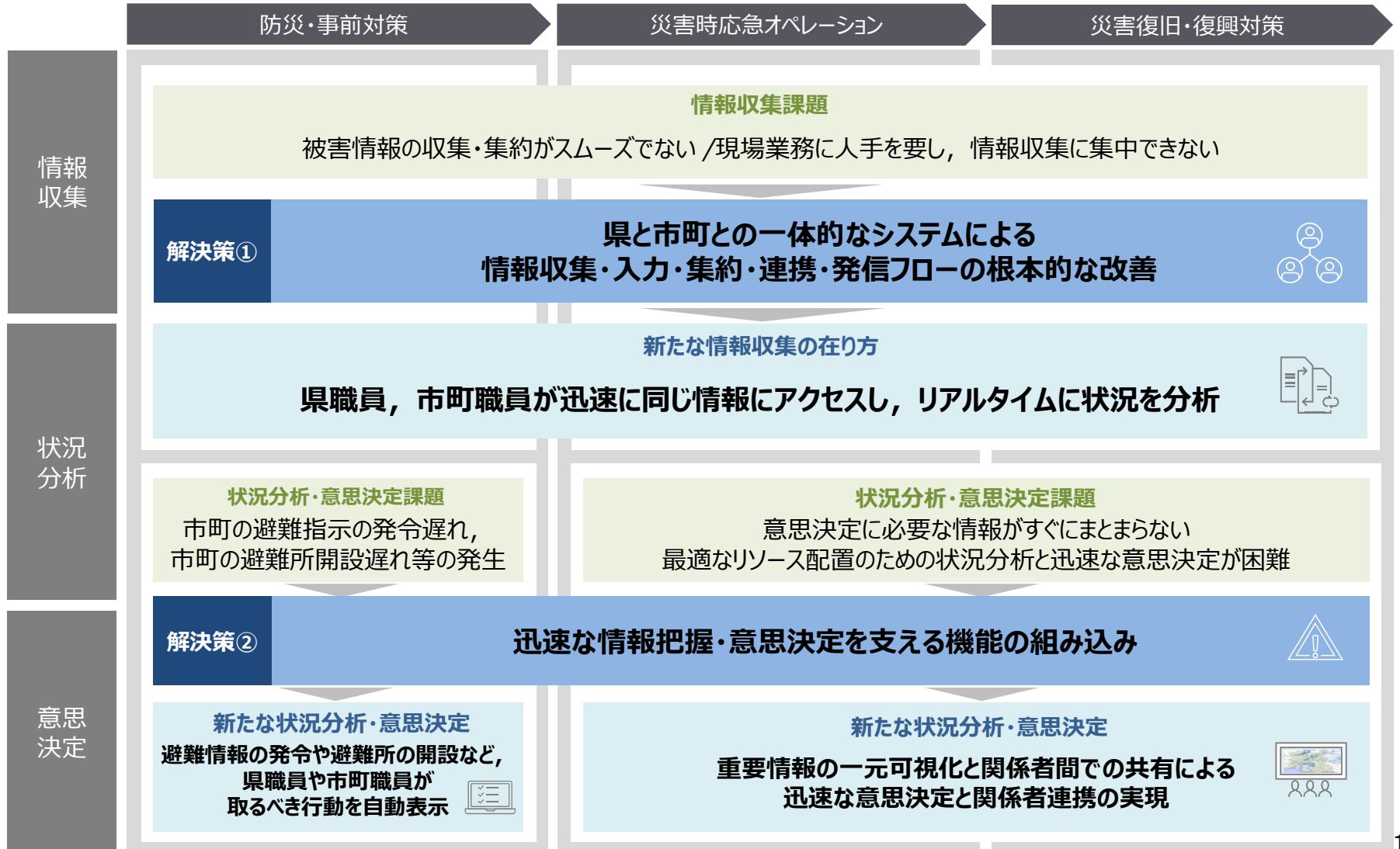
## 現行の災害対応業務の流れ

- 現行の災害対応においては、市町職員へのシステムへの二重登録作業の発生や、可用性の低い形式での情報収集・流通に課題がある



## 災害対応業務の課題と解決について

次期防災情報システムを導入することにより、以下の課題の解決を図ります。



## 次期防災情報システムの新機能について

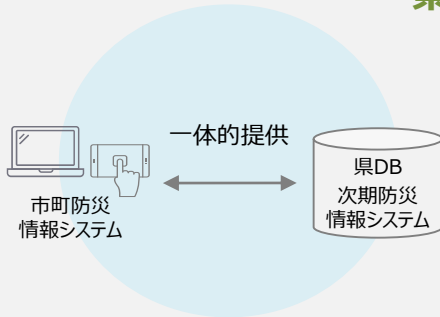
- 前頁の解決を図るため、情報収集や報告フローの短縮化と情報集約・情報分析をより高度化するための2機能を検討する

### 解決策①

### 防災業務支援機能

国内実証・運用事例あり  
(愛知県)

#### 県と市町の防災システムを将来的に一体化し、情報集約や報告フローを短縮化



- ◆ FAXや電話，二重入力等が不要な，県システムと一体となった市町支援システムの提供による報告業務の負担軽減
- ◆ 電子データでの記録・蓄積により，データの可視化や連携，分析を簡易に実施可能とする

### 解決策②

### GISキャンバス (仮称) 機能

海外実証事例を参照  
(欧州委員会：イタリア)

#### 必要な情報を直感的に，複合的に確認できるシステム画面や大画面モニターの活用



危険  
アラート



SNS  
情報



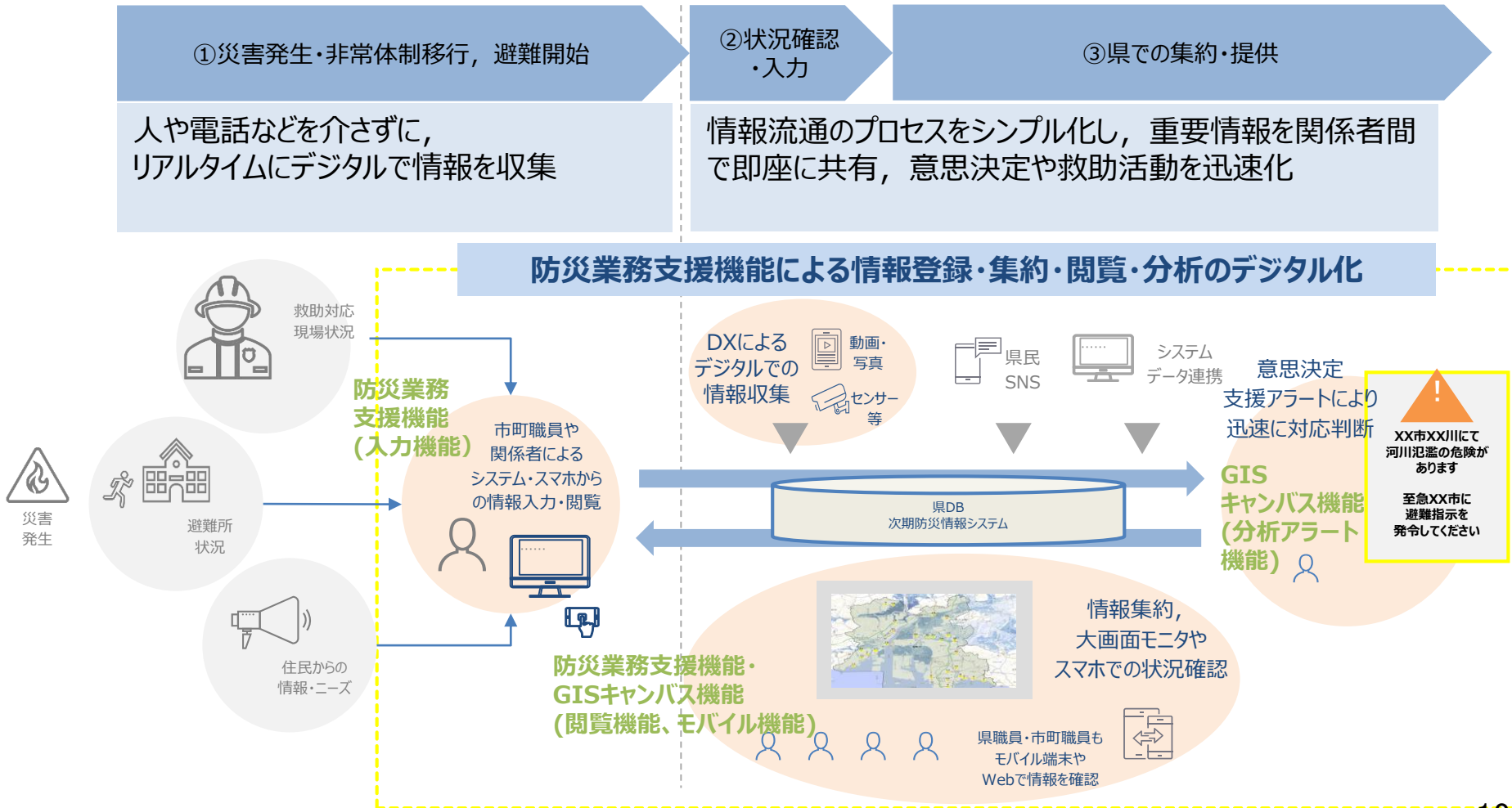
モバイル  
連携・閲覧

- ◆ 大画面モニター，Webサイト，スマートフォンにて情報が閲覧でき，関係者間で同じ情報を，行政機関の情報のみならずSNSの情報も共有（情報制御も可能）
- ◆ 気象情報や観測情報の状況に応じて，避難情報の発令や避難所の開設など，県職員や市町職員が取るべき行動を自動表示



## 次期システム導入後の災害対応業務の流れ

- 新たな防災業務システムやDX技術の採用によって、デジタルデータでの迅速な情報共有や分析を通し、県民の安全のための意思決定をサポート



## 次期システム導入後の災害対応イメージ

- 「防災業務支援機能」で収集したデジタル情報を「GISキャンパス機能（仮）」で分析、重要情報を自動で表示させることにより、ヒューマンエラーや対応遅れを防止

DXによる解決：

**GISによる迅速な被害情報把握と救助リソースの最適投入や市町業務のシステム化による円滑な被災者支援を実現**

### インプット(システム連携)

- 県庁 危機管理監・市町**
- 災害現場情報 ※
  - 施設被害情報 ※
  - 避難所情報 ※
- 県民**
- SNS投稿情報 (Spectee)
  - AI防災チャットボット

※ スマートフォンからも入力・送信可能

- 県庁 土木建築局**
- 観測情報 (DoboX)
  - 道路規制情報 (DoboX)

- 県警**
- 被害情報 (災害警備システム)
  - 部隊情報 (災害警備システム)

- 他システム**
- 交通・ライフライン情報 (レスキューナウ)
  - 気象・観測情報 (気象庁アデス)
  - SIP4D...等

### アウトプット(GISキャンパス機能)

**豪雨災害時検討情報一覧**

- 雨量レーダー
- 土砂災害危険度
- 河川水位超過
- 避難情報発令状況
- 避難所開設状況
- 部隊活動情報 (警察)
- 部隊活動情報 (消防)
- 被害情報
- 高リスク箇所
- SNS収集情報
- 災害現場画像

**# 危険**

**MEMO :**  
XX地区にて床下浸水が始まっている箇所あり (XX市XX課)

**Twitter**  
XX:XX投稿

**アウトバウンド:**  
XX市XX川にて河川氾濫の危険があります  
至急XX市に避難指示を発令してください

### インプット (防災業務支援機能)

市町職員や関係機関（県警・消防）からスマホやシステム連携で情報を収集  
メモ形式でGIS上に書き込みも可能



県職員，市町職員が同一の情報を基にタイムラグなく対応

### アウトバウンド

#### 県民向け防災情報

- 県ホームページ
- メール配信サービス
- DoboX (オープンデータ)
- 民間アプリケーション

#### 他機関向け防災情報

- 県警災害警備システム
- Lアラート
- 日本気象協会
- ウェザーニュース
- SIP4D...等



県民・行政職員



他システム



## 次期防災情報システムのロードマップについて

- 今年度の検討内容をもとに、市町との具体的な連携やシステム機能の将来構想の詳細化、DX技術の導入検討を行う。

本年度

